

九州地区専門技術研修「TIG溶接(アルミニウム合金編)」

白川武敏

機械加工グループ

1 はじめに

機械工作の中において、溶接技術の継承は他のものより進んではいない。それは溶接を必要とする場面が他の工作機械において圧倒的に少ないからである。溶接法は数多くあるが本研修ではTIG溶接でのアルミニウム接合に限定し行った。

2 研修内容

研修の概要は次の通りであり、2日間に渡って実施した。

日時：2019年2月21日 10:00～16:00

22日 10:00～14:00

場所：工学部中央工場

参加者：久留米工業専門学校1名

研修内容：

1日目(2月21日)

- ・TIG溶接の概要の説明
- ・ステンレスとアルミニウムの溶接実技

2日目(2月22日)

- ・TN-1Fの練習と模擬試験

図1 研修風景



3 まとめ

アルミニウムは熱伝導が良いため熱集中が悪く、融点が低いので溶け落ちが生じやすい。また、ひずみ易く割れやすいため鉄類に比べ溶接するのが難しいといわれている。ここで学んだことを積極的に活用し技術スキルの向上につながれば、他の教育機関との交流も生まれ、技術の伝承・継承にも一役買えるものと期待している。